

あき支所管内より



さすってさすって〜♡

COCOちゃん(10)

飼い主：谷岡 泰男さん

みんなにさすってもらうのが大好きなCOCOちゃん。散歩中に会った知らない人にもゴロンとなって、「さすってさすって〜」とおねだり。一度さすってもらうと、「もっともっ〜」とおねだりは止まりません。

食べることも大好きで、以前は2階の娘さんの部屋まで上がって、盗み食いやいたずらをしたりとやりたい放題でした。昨年も泰男さんが家に帰ると、キッチンが小麦粉まみれでびっくり！家中、真っ白な足跡だらけでした。食い意地が張っている当の犯人も、ひげや鼻が真っ白！小麦粉と唾液で鼻に団子を作っていたそう。チャーミングですね〜♪

じいじとウンボに乗りたいな♪

たどころ 宗弦くん(2)

大好きなウンボに乗って、ご機嫌の宗弦くん。性格は明るくて、やんちゃ♪いつも近所のお兄ちゃんやお姉ちゃんに可愛がってもらっています。

乗り物は、乗るのも見るのも大好き！外ではウンボやダンプカー、田植え機、コンバインなどに乗って、家の中ではウンボのおもちゃで遊んでいます。祖父・正弥さんのことが大好きで、「じいじに会いたいな〜」とよくつぶやいているそう。毎週土曜日は、朝から正弥さんと一緒にウンボに乗って遊べる時間です。じいじと一緒に過ごす土曜日を、毎週とても楽しみにしています。

北川支所管内より



安芸
地区

から こんにちは 今月の○○ 気になる人

安田支所管内より



5歳の時から釣り人

小松 明彦さん(51)

5歳の時から父と一緒に海釣りに出ていたという明彦さんは、生粋の釣り人。親戚から譲り受けた明神丸へ乗って、春はカツオやマグロ、夏はキハダマグロやシイラ、今の時期はイサキやグレなどを釣りに出かけます。今まで釣った大物は、20kgのマグロや15kgのキハダマグロ。釣った魚をさばくのも、もちろん明彦さん。その包丁裁きは見事です。「じいじのピンビ食べたい！」と今はお孫さんも楽しみに待っています。

36歳の時、「笑ってコラえて！日本列島ダーツの旅」に安田町の釣り仲間と出演しました。明彦さんが船を出して、インダイやウツボを釣り、東京の所ジョージさんへ刺身を振る舞いに行きました。所さんに「美味しい！」と太鼓判をもらったことは、長い釣り人生の中でも良い思い出です。

田野支所管内より



農家で成功し、地域へ貢献したい

高橋 泰斗さん(30)

富山県出身の泰斗さん。子どもの頃から観葉植物を育てることが好きで、農業にも興味があったと言います。高知大学農学部へ進学。そこで田野町出身の友人に出会い、友人2人と田野町でナス農家になる道を目指しました。

約2年の研修後、田野町のハウスに入り、5作目を迎えます。1作目はたまたま上手くいきましたが、2、3作目で水や肥料の管理で失敗を経験。今、やっと栽培方法を掴み始めました。来作から、新しく建設中の18.5アールのハウスへ入ります。「研修生として受け入れてもらった経験があるので、自分も研修生へ教えられる実力を付けたい」と目標を語る泰斗さん。「地域の農家の方々に良くしてもらったから、田野町で農家として成功して貢献したい」と前を向く誠実な人柄に、地域でも期待が寄せられています。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



産地維持に向け、ポンカンの栽培に励む西内会長

1 東洋支所

東洋町ポンカン振興対策協議会 産地維持に向け地域一丸

東洋町で12月、ポンカンの収穫がピークを迎えました。昨年8月、生産者やJA、町、安芸農業振興センター室戸支所などは、産地の維持を目指して、「東洋町ポンカン振興対策協議会」を設立。

①担い手不足②鳥獣害対策③低樹高化の推進などの課題解決に向けて、地域一丸となって取り組んでいます。

担い手不足では、担い手となる地域おこし協力隊を受け入れている地域2カ所を視察し、体制や課題を学びました。同町でも、早ければ年度内に地域おこし協力隊を募る予定です。鳥獣害対策では、わな猟狩猟免許試験を同町で初めて開催し、新たに生産者5人が免許を取得。今後、有害鳥獣の捕獲に力を入れていきます。低樹高化の推進では、今年度は試験的に、次年度以降はモデル園地を設置して収量性や作業性の検証を図ります。西内暢善会長は「JAや行政と連携しながら、課題解決に向けて精力的に進めていきたい」と意気込みます。

協議会HPはこちら！



室戸市、安芸農業振興センター室戸支所、JAは12月15日、室戸市吉良川町で特別支援学級の児童を対象に農業体験を開きました。農業に触れることで社会参加を促すとともに、将来的な就農も見据えています。

農業体験は、同町でポンカン栽培する千光士尚史さんの園地で、吉良川小学校と室戸小学校の特別支援学級1〜6年生11人が収穫体験をしました。児童は千光士さんから、「ハサミで実を傷つけないことや「二度切り」の方法を教わり、夢中で収穫。児童は「収穫が楽しかった」「農家になりたい」と笑顔を見せました。同市保健介護課の保健師、森川奈緒さんは、「みんな楽しそうに収穫していたので、またこのような機会を設けたい。今は学校と福祉の繋がりが少ないので、農業を通して連携すること、将来的な子どもたちのサポート体制を作っていくたい」と話しました。

同市では、次年度以降も定期的に農業体験を開催し、地域で農福連携を推進していきます。



千光士さんに教わりながら収穫を楽しむ児童④

2 吉良川支所

特別支援学級生がポンカン収穫体験 社会参加・将来の就農も

3 あき東支所

小学校でメロンの出前授業



「甘くて美味しい」と、メロンを頬張る児童

高知県園芸品販売拡大協議会は12月11日、安芸市の伊尾木小学校でメロンの出前授業を開きました。5、6年生9人が県職員から、県産メロンの栽培や流通について学びました。

授業では高知県農産物マーケティング戦略課の植野康佑主幹が、メロンの苗づくりから収穫までの流れや、1本の木に1玉だけ実らせることなどを説明。授業の後、春野町産メロンも味わいました。児童は「メロンについて知らないことを学ぶことができた」と喜んでいました。

4 芸西支所

芸西村黒砂糖作り 未来へ伝承



釜で黒砂糖を煮詰める熟練の組員

芸西村伝承館では11月下旬から、特産のサトウキビを使った黒砂糖作りが始まりました。同館製糖組合が、江戸時代から伝わる製法を未来へと繋いでいます。機械で搾った

サトウキビの搾り汁に石灰を入れ、3つの釜で順番に沸かします。煮詰めて、型に流し入れ、冷まして仕上げ。全工程に4〜5時間かかり、館内は徐々に甘い香りに包まれます。

濱田剛寛代表は「サトウキビの由来に合わせて、毎年炊き方を変え、口ざわりの良いすっきりとした後味を追求している」とPRしました。

5 吉良川支所

室戸早春の味「浜アザミ」収穫



砂利を掘り、浜アザミを収穫する谷口さん

室戸市で11月から、特産の浜アザミの収穫が始まりました。昔から海岸地帯に自生しており、春を告げる味として地域で親しまれてきました。同市では、約10人が栽培しています。

浜アザミはキク科の野草。若芽や葉根を天ぷらやみそあえなどで食べます。ほろ苦く、ゴボウのような香りが広がり、シャキシャキとした食感が特徴です。谷口精作さん、律子さん夫妻は「潮風に当たると、香りが引き立って美味しくなる」と栽培に励みます。主に、道の駅キラメッセ室戸楽市で販売しています。

6 吉良川支所

正月前に吉良川町産の千両出荷



真っ赤な実が華やかな千両

吉良川集出荷場で12月15日、正月飾りの千両の受け入れがピークを迎えました。取引する市場で年に一度開かれる「千両市」へ向けて約40万本を出荷しました。吉良川

千両部会は、8人が約4ヘクタールで栽培。昨年は実つきも良く、大きいものが多めでした。花は小まめに切り返し剪定をすると、水の吸い上げが良くなり、2、3月まで楽しむことができます。

宮川真吾場長は「生産者は、千両を飾って良い年を迎えてほしいという思いで栽培している」と出荷を喜びました。

えいのう〜



栽培管理

ナス

凍害防止

収穫後の果実を7℃以下の低温下に置かないようにし、輸送中も荒風に当たらないように覆いをするなど、冷害の発生防止に努めましょう。

灌水・追肥

灌水は1〜2日ごとを目安として、日射量に応じて徐々に増やします(ハウス野菜栽培管理よみ資料14参照)。2月は徐々に日射量が増えてきます。特に2月後半からは土壌が乾きやすく、着果量も増えてボケ果の発生が多くなるので、十分に灌水します。1ヶ月あたりの施用量は、10アルル当たりチッソ成分で7kgを目安とします。追肥は液肥を用いて灌水のたびに1回あたりの量は灌水の間隔によって調整します。

整枝・摘葉・光環境

二重内張を開けるとともに、ふところ部の混み合ったところは摘葉して採光性を良くし、側枝は一芽切り戻しを徹底します。

苦土欠対策

水2000ℓに1kgの硫酸マグネシウムを、10日ごとに葉面散布します。

温度管理

ハウスの出入り口や換気窓などの隙間風に注意しましょう。無加温栽培では保温対策に努めます。夜温の管理温度は、普通ナスの最低温度は、実温で10〜13℃を目安として変温管理を行います。

病害虫防除

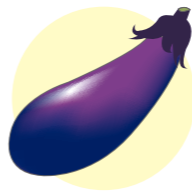
菌核病・灰色かび病は、低温・多湿で発生しやすく、発病した果実・茎・葉はハウスから持ち出しハウスの菌密度を低くします。黒枯病、すずかび病、褐色腐敗病、茎腐細菌病、軟腐病、ナスフザリウム立枯病、コナジラミ、アブラムシ類、ホコリダニ類に注意しましょう。

単花処理

ハチの飛びが悪い時や最低夜温が12℃を下回る場合は、単花処理を行います。単花処理をした後は、花抜きを行うなど灰色かび病の発生に注意しましょう。

CO2管理

日中に大気レベル濃度(400ppm)を下回らないようCO2を施用しましょう。(資料14参照)



整枝・剪定

カンキツ

まだまだ寒さが続く日々ですが、間伐・縮伐や整枝・剪定による環境改善を行い、果実品質や作業効率の向上を図りましょう。

密植園地の間伐・縮伐

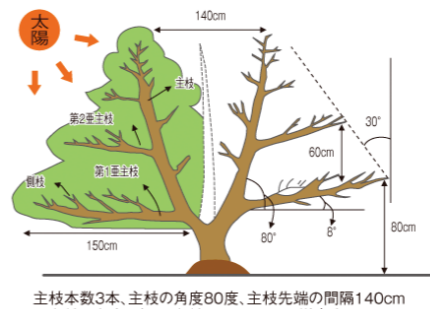
密植園地の問題点としては、①立ち枝が多くなり着花が悪くなる②病害虫の発生が多くなる③品質が悪く、着色も遅れる④収穫作業効率が悪いなどが挙げられます。

密植園地では独立した樹冠になるように間伐や縮伐を行い、老朽化した園地では改植により園地の若返りを図りましょう。

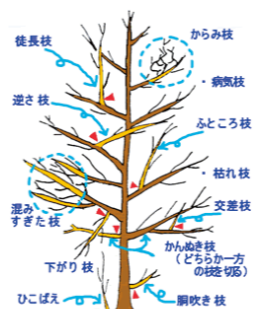
整枝・剪定作業

整枝・剪定の目的は、①果実品質の向上と隔年結果の是正②黒点病の発生源となる枯れ枝の除去③収穫作業の効率化④日当たりや風通しの改善⑤薬剤散布のかけむらをなくすなどがあります。

カンキツの剪定時期は、寒さがややゆるんできた2月下旬以降が良く、開花期までは行えません。整枝・剪定の基本としては樹木の状態をよく観察し、全体的なイ



剪定の基本



基本樹形

メージをつくりあげます。主枝を2〜3本決め、主枝から亜主枝、側枝を作り、空間を立体的に利用します。主枝はできるだけ内側に置き、第1亜主枝にはたくさん側枝、緑枝を作りたいので、あまり角度はつげずに水平に近く作ります。樹高は、収量・作業性からも考えて、2.5m以下におさえましょう。



安芸営農経済センター 営農指導課 中芸ブロック 久保 巴哉

一年間の記帳結果をもとに確認しましょう

小原 容子

振興センターだより

安芸農業振興センター 08871340138

確定申告に向けて準備は進んでいるでしょうか。確定申告が終わった後は、決算書をもとに農業経営の収支状況を確認するだけでなく、家計費も含めた経営全体に必要なお金を把握し、経営の見直しにつなげましょう。

一年間の農業経営の結果を数字で確認しましょう

農業経営については、損益計算書(白色申告では収支内訳書)、「売上―経費」所得」を表にしたもので、一年間の経営の成績を確認しましょう。去年と見比べてみて、大きな変化はないか見直してみましょう。

●「売上」は単価×収量です。単価安を嘆くだけでなく、収量に変化があったなら、その要因はどこにあったかを、考えてみてください。

積・気象・病害虫発生・技術・労力・施設など色々あります。何か改善できるところはありますか。 ●「経費」は、同じ面積であれば、大きな変化はないはずですが、変化があれば、どの経費でそれは何故だったかを確認しましょう。 必要な所得(もうけ)は得られましたか。家族で決算書を見直しながら確認してみよう。 必要な所得がわからない場合は、「年間お金がいくら必要か?」を確認し、必要な所得を得るために、「あと〇トン取ろう!」などの具体的な目標を立ててみましょう。

一年間に必要なお金は把握できていますか?

農業はサラリーマンとちがいで、お金の出入りが複雑で、収入や支出が時期によって大きく変わります。

ます。いくら収入が多くても、それで家族が年間通じて生活できなければ意味がありません。 またまった支出が「いつ」「どのくらい」必要かわかっていなければ、年間の経営収支が赤字でも、お金が沢山いる時期に、資金繰りできない(赤字になる)状況になります。これを防ぐためには、経営費と併せて家計費を把握し、家全体のお金の流れを把握することが大切です。これにより、家計の見直しにつなげるだけでなく、必要な支出に備えた、月別の資金繰り計画につなげることもできます。

お金の流れを確認してみましょう



(1) 農業のもうけ(農業所得)

$$\text{農業収入} - \text{農業経費} = \text{農業のもうけ(農家所得)}$$

(2) 手元に残るお金

$$\text{農業所得} + \text{減価償却費} + \text{農業外所得(給与所得、年金等)} = \text{手元に残るお金}$$

(3) 農業以外の支出

$$\text{社会保険、税金等} + \text{保険の掛金} + \text{借入金返済(営農・生活)} + \text{準備金(営農・生活)積立貯金等} = \text{農業外支出}$$

(4) 家計に使えるお金

$$\text{手元に残るお金} - \text{農業外支出} = \text{家計に使えるお金}$$

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

ユズは海外で大人気だと聞きました。私もユズ玉の皮は「ゆずジャム」に、じゃこと昆布を入れて「ゆず味噌」に、搾ったユズはチューハイにと楽しんでいきます。

(田野支所・63歳)

▼じゃこと昆布のゆず味噌！おにぎりに入れてみたいです♪海外でも高知のゆずを楽しんでくれてるなんて、想像するだけでワクワクしますよね。

ハコス力、懐かしいです。若い頃乗っていたので、青春を思い出しました。

(吉良川支所・70歳)

▼同世代の方の中には、懐かしく思い出される人も多いようですね。出合えたらラッキー☆ぜひ、見せてもらってください。

ぼたなすを初めて知った時は、びっくりしました。フライもよし、焼きなすもよし、大好きになりました。今シーズンはたくさん食べました。

(羽根事務所・59歳)

▼ぼたなす美味しいですよ！地元の人でも、まだまだ知らない方が多いようです。キラメッセ室戸が遠い方は、旬の時期はとさのさでも販売していますよ。

来年はコロナも完全に落ちついて、皆様が笑顔の楽しい日々を迎えることができますように。

(あき支所・68歳)

▼今年のお正月、同じお願いをされた方も多いのではないのでしょうか。来年の元旦は、賑やかにおきやくをしたいと思います！

コチットのグッズは販売していますか？

(穴内出張所・31歳)

▼申し訳ありません、現時点でグッズは販売しておりません。イベントなどでコチットが登場した際、コチットのシルやぬりえを配布しています。イベントが開催できるようにになったら、ぜひコチットに会いにきてください！

イラスト紹介



6人×1びき
(芸西支所 吉良さん)

みんな表情が違って、楽しそうですね！
ペットはワンちゃんかな？

広報のつぶやき

年末年始、コロナの影響でJAの女性部活動や部会活動、食農教育などが全て中止になってしまいました。感染拡大防止のためなので仕方ないのですが、広報担当者としては取材材料が減ってしまいピンチ！今月号のできごとピックアップに、通常は旬の時期がズレるため掲載していなかった農産物の収穫記事が多いのはそのためです。

でも、農産物が全面に出ることで、いつもとは少し違った雰囲気を楽しんでいただけただけでは？活動の自粛は、まだまだ続きます。広報担当者として、動ける範囲で取材を続けていきたいと思っています。おすすめのネタがありましたらぜひ、ご報願します！

(竹村)

INFORMATION

お知らせ

安田支所（信用業務・共済業務・ATM）店舗移転のお知らせ

安田町新庁舎建設に伴い、安田支所の業務の一部が庁舎内に移転いたします。移転は信用・共済業務の2部署であり、経済（販売）業務については現在の場所で営業いたします。移転は令和3年2月1日（月）からです。移転後の電話等については、下記までお願いいたします。

安田支所(信用課・共済課)

安芸郡安田町安田1850番地（安田町新庁舎内）
TEL 0887-38-6611 FAX 0887-32-1211（現行どおり）

中芸営農センター安田事業所

安芸郡安田町安田1847番地（現行どおり）
TEL 0887-38-6612 FAX 0887-38-6613（電話・FAX番号が変更）

税務相談日

令和3年3月17日（水）・4月14日（水）

会場 あき支所3階 **時間** 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515